

開催校プログラム

若手研究者のためのワークショップ

ワークショップ1：「質的調査研究ワークショップ」 【301 教室】

趣旨：質的調査研究ワークショップは、若手研究者（この場合の若手研究者とは、年齢に関係なく、大学院生や研究歴の浅い研究者を指します）の研究手法の知識や技術の向上を目的としたものです。本ワークショップでは、質的調査研究の手法に焦点をあて、二人の若手研究者の質的調査の研究内容の発表をもとに、各研究手法に専門家である2人の指導者(コメンテーター)によってその場でライブの研究指導を行います。その後、参加者と質疑応答を行う予定にしています。

コーディネーター：李 政元氏（関西学院大学）

研究発表者

松本 理沙氏（同志社大学大学院博士課程）

発表テーマ：「知的障害者家族におけるきょうだいのケア —ジェンダーの視座から捉えたきょうだいのライフストーリー研究—」

大賀 有記氏（ルーテル学院大学大学院博士課程）

発表テーマ：「ソーシャルワーク研究における修正版グラウンデッド・セオリー・アプローチの有用性 —急性期病院における脳卒中患者家族との支援関係に関する研究を通して—」

コメンテーター

山口 麻衣氏（ルーテル学院大学）

【所属】：ルーテル学院大学総合人間学部 准教授

【略歴】：南カリフォルニア大学老年学スクール修士課程修了。老年学修士（MSG）。上智大学大学院文学研究科社会学専攻（社会福祉コース）博士後期課程修了。社会福祉学博士。社会福祉士。専門社会調査士。

大谷 京子氏（日本福祉大学）

【所属】日本福祉大学社会福祉学部 准教授

【略歴】：関西学院大学社会学研究科博士課程前期課程修了。医療法人清心会山本病院にPSWとして勤務（1994～1998年）。医療法人精神障害者地域生活支援センター「ちのくらぶ」PSW、施設長として勤務（1998～2003年）。関西学院大学社会学研究科博士課程後期課程単位取得満期退学。2011年博士（人間福祉学）。

ワークショップのタイムテーブル

プレゼンテーション	40分程度
コメンテーターからの質問	10分ずつ（20分）
フロアーからの質疑応答	30分
コメンテーターからの評価	10分ずつ（20分）
司会者のエンディング・まとめ	10分

ワークショップ2：「量的調査研究ワークショップ」 【302 教室】

趣旨：量的調査研究ワークショップは、若手研究者（この場合の若手研究者とは、年齢に関係なく、大学院生や研究歴の浅い研究者を指します）の研究手法の知識や技術の向上を目的としたものです。本ワークショップでは、量的調査研究の手法に焦点をあて、一人一人の若手研究者の量的調査の研究内容の発表をもとに、各研究手法に専門家である2人の指導者(コメンテーター)によって、その場でライブの研究指導を行います。その後、参加者と質疑応答を行う予定にしています。

コーディネーター：武田 丈氏（関西学院大学）

研究発表者

添田 正揮氏（川崎医療福祉大学）

発表テーマ：「外国籍住民または外国にルーツがある利用者に対する支援及び支援提供体制の実態把握調査」

発表の調査概要：

本調査は、社会福祉施設・機関（地域包括支援センター、児童養護施設、母子生活支援施設）、地方公共団体（外国人集住都市会議会員 28 自治体）を対象として郵送調査を実施する。調査内容は、職員の多文化への対応能力（カルチュラル・コンピテンシー）、外国人利用者数の推移、対応の緊急度、援助で問題になっていること、日本人利用者との相違点、外国人だけを対象に実施した援助内容等である。

コメンテーター：

岡田 進一氏（大阪市立大学）

與那嶺 司氏（大阪人間科学大学）

ワークショップのタイムテーブル

研究内容のプレゼンテーション	40分程度
コメンテーターからの質問	10分×二人
フロアーからの質疑応答	30分
コメンテーターからの評価	10分×二人
司会者のエンディング・まとめ	10分

ワークショップ3：「コミュニケーションラボ体験」(定員 24 名)

【多機能演習室】

趣旨：関西学院大学では、援助技法の習得を目指して、ビデオ等のAV機器で構成されたコミュニケーションラボシステムを活用して、援助場面におけるコミュニケーションスキルトレーニングを行っています。本ワークショップでは、これらの機材を活用した模擬授業を体験していただき、ご自身のコミュニケーションのあり方への気づきを得ていただき、また演習等の授業におけるこうした手法の活用法についてのディスカッションを行い、効果的な教育方法についての意見交換を行うことを目的とします。

なお、本ワークショップは、多機能演習室という特別な機材を設置した教室でワークショップを行うために、利用できる人数が24名と限られております。事前に申込をされた方のみワークショップを受けることができますので、ご注意ください。

コーディネーター兼ファシリテーター：川島 恵美氏（関西学院大学）

ワークショップの進め方

9:30～10:00 援助におけるコミュニケーションについての小講義

10:00～11:30 コミュニケーションラボ体験

モデル映像視聴 ロールプレイング録画 録画フィードバックセッション等

11:30～12:00 質疑応答 演習等におけるAV機材活用についての意見交換

注)

本ワークショップに参加される方は、ご自身の映像を記録する媒体として、2GB程度の空き容量のあるUSBメモリをご持参ください。